

## 第 1 0 章 啓発事業



市では、地球環境及び地域環境の現状について多くの市民、特に次世代を担う子供たちに情報を提供することにより、市民一人ひとりが環境について関心を持ち、環境を守る取組みの第一歩を身近なところから始めてもらうきっかけづくりを目的として次のような啓発・広報活動を行っている。

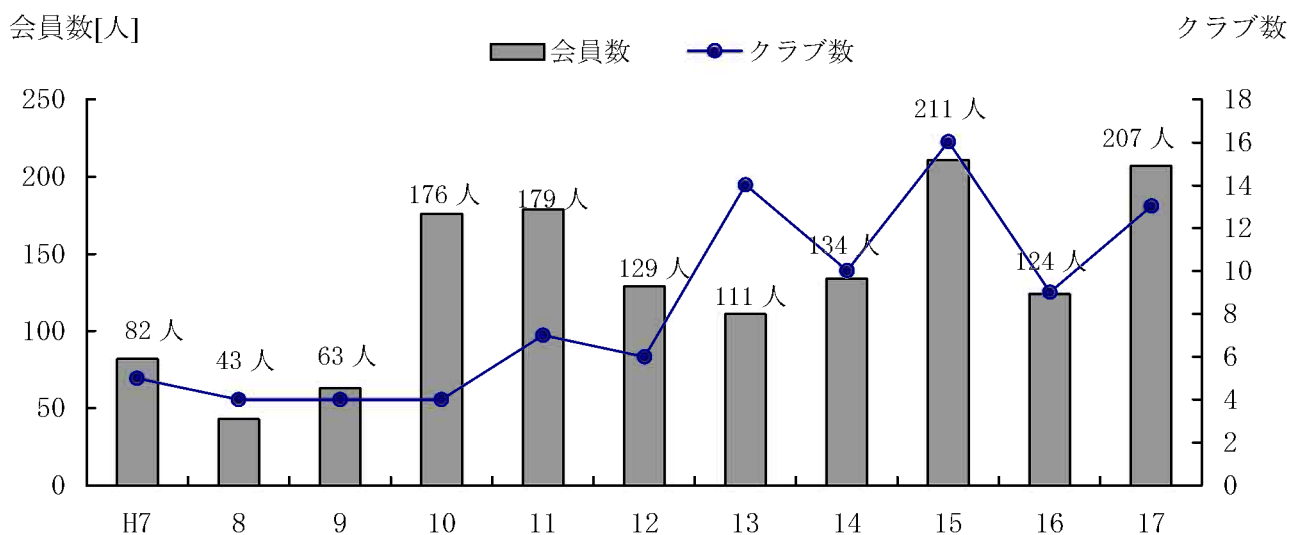
## 1. こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子供たちが主体的に行う環境学習及び環境保全に関する活動支援を目的として、平成7年度から環境庁（現環境省）が実施している。市も平成7年7月、環境課内に「こどもエコクラブ」事務局を設置し、以来、年間6回程度の自主開催イベントによる啓発活動を展開している。平成17年度、八代市からは13団体207人がこどもエコクラブ活動に参加した。

表ー1 平成17年度こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況

団体名	会員数	団体名	会員数
子ども倫理塾	10	あすなろ子供会	32
ひかりエコクラブ	70	JEC 八代1	3
JEC 八代2	1	麦島こどもエコクラブ	5
中田どっとねっと	2	昭和小4年水たんけん隊	10
昭和小6年昭和エコクラブ	13	宮地小5年生	41
ガールスカウト熊本県第22団	14	グリーンファミリー	4
山崎ファミリー	2		

図ー1 こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況の推移



※平成16年度までは、(旧)八代市のデータを掲載

表-2 平成17年度子どもエコクラブイベント実績

イベント名	開催日	開催場所	参加人数
春の野鳥観察会	平成17年 4月23日(土)	球磨川河口	37人
ホタル観察会	5月27日(金)	ほたるの里公園	100人
こども緑の探検隊	7月28日(木)	八代城址公園及び松井神社	30人
夏のスターウォッチング	8月5日(金)	大島干潟	45人
エコキッチン	8月20日(土)	宮地東小学校	10人
干潟観察会	8月27日(土)	八代城址公園・松井神社	30人
冬の野鳥観察会	平成18年 1月28日(土)	球磨川河口	30人
合計			282人

① 野鳥観察会

球磨川河口における野鳥の観察及び干潟生態系における鳥の果たす役割についての学習等を通して、子ども達が身近な自然に親しみながら環境への関心を深めることを目的として開催。八代野鳥愛好会の指導のもと、シギ・チドリ類等の観察を行った。



② ホタル観察会

ほたるの里公園（妙見町）に生息するホタルや餌であるカワニナの生態について学習し、生活排水が河川環境に与える影響について考えてもらうことを目的として開催。公園周辺に生息するゲンジボタルを親子で観察した。

③ こども緑の探検隊

樹木の役割や地球温暖化について考えてもらうことを目的として八代城址公園にて開催。「こども葉っぱ判定士」にならい、樹木が吸収する二酸化炭素の量を計算し理解するなど、樹木の重要性について学習した。



#### ④ 夏のスターウォッチング

全国星空継続観察参加によるもので、星空の観察という身近な方法による大気環境の調査を通じて市民の大気環境保全に関する認識を高めることを目的として宮地東小学校で開催。光害について学んだ後、「こと座のベガ」等を八代星空の会の永原博英さん指導のもと観察した。



#### ⑤ エコキッチン

普段の家庭生活の中でも特に台所での環境保全について考えてもらうことを目的として、親子で食事作りを行い、その後の排水汚染実験等を通して水を汚しにくい後片付けの方法や少量の油でできる料理について、尚綱短期大学の川口恵子先生の指導のもと学習した。



#### ⑥ 干潟観察会

干潟に生息する生き物の観察やアサリの浄化実験等を通して、干潟の浄化作用、多様性などについて考えてもらうことを目的として大島干潟で開催。

八代高校の田畑清霧先生を講師に招き、学習会を行った後、干潟でコメツキガニ等の観察やその他の生き物探しを行った。



## 2. 環境学習出前講座「環境ゼミナール」

### (1) 目的

環境行政に携わる市職員（環境課、廃棄物対策課及び清掃センターの職員）が直接出向き、地球環境問題をはじめ、私たちの生活に身近な環境や自然の状況について事例紹介等を行い、地球環境及び本市の環境の現状について考える機会を提供する。

### (2) 派遣対象

市民団体、市内小・中養護学校、  
市内保育園及び幼稚園



環境ゼミナールの様子

### (3) 内容

小・中学校等の希望する講座内容にあわせ、事前打合せを行ったうえで、簡易実験等を取入れながら実施している。また、水生生物観察会、干潟観察会等の野外活動や自然観察についても可能な限り対応している。



野外活動の様子：水生生物の分類

(4) 平成 17 年度環境ゼミナール事業実績

平成 17 年度実績は下表のとおり。依頼内容としては、水環境に関する内容が多かった。平成 15 年度（23 回、949 人）、平成 16 年度（24 回、1,005 人）と比較すると実施回数及び参加人数ともに増加した。また、小中学校だけでなく、様々な方面からの依頼が増加している。

実施日	依頼元	人数	内容
H17. 4. 25	八代更正病院	40	水環境
5. 18	豊原中町公民館	34	廃油せっけん作り
5. 21	ひかり児童館	60	干潟観察会
6. 1	宮地小学校 5 年生	44	水環境・水生生物観察会
6. 9	八代小学校 4 年生	65	水環境
6. 9	第 6 中学校	64	自然環境
6. 20	松高小大島分校	13	干潟観察会
6. 22	八代小学校	72	干潟観察会
7. 6	昭和小学校 4 年生	11	水環境・生物調査
7. 11	昭和小学校 6 年生	13	地球温暖化、ISO
7. 22	太田郷校区婦人会	50	水環境・ホテル
7. 22	八千把校区婦人会	35	水環境
7. 31	次世代のためにがんばる会		地球温暖化、星空観察
8. 2	八千把保育園ジュニアクラブ	40	みどりの探検隊
9. 29	郡築小学校 4 年生	47	水環境
10. 11	第 4 中学校	15	水環境
10. 14	松高小学校 3 年生	143	干潟観察会
10. 18	集いの家	11	廃油せっけん作り
10. 20	松高小学校 4 年生	149	ごみとリサイクル
11. 11	松高小学校 2 年生	148	干潟観察会
12. 1	二見小学校 5 年生	22	ダイオキシン類
12. 6	集いの家	6	廃油せっけん作り
12. 7	豊原下第 2 町	15	アスベスト問題の現状
12. 8	宮地小学校 5 年生	41	ダイオキシン類
12. 9	昭和小学校 5 年生	22	ダイオキシン類
12. 12	金剛小学校 5 年生	68	ダイオキシン類
12. 15	日奈久小学校 4 年生	22	ダイオキシン類
12. 15	高田小学校 5 年生	105	ダイオキシン類
12. 16	宮地東小学校 2～6 年生	5	ダイオキシン類
H18. 1. 26	明青大学	35	環境問題の歴史
30 回 延べ 1395 人			

### 3. 環境月間等

#### (1) 「環境月間」及び「環境の日」

6月5日は、ストックホルム国連人間環境会議の開催（昭和47年6月）を記念して決定された国連の「世界環境デー」である。わが国においても平成3年度から、6月を「環境月間」とし、環境保全活動の重点推進を図っている。

また、平成5年11月に制定された「環境基本法」では6月5日を「環境の日」と定めており、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい事業を実施するよう明記されている。市としてもクリーンな地域環境を維持、向上させるため次の活動を実施した。

#### 平成17年度「環境月間」行事

行事名	期日	内容
市職員エコ通勤	6月中	毎週水曜日、マイカーによる通勤を控え、徒歩、自転車、バス等の公共交通機関を利用した通勤を励行した。
廃棄物不法投棄 パトロール	6月中	市内の不法投棄場所を調査し、不法投棄者には指導を行った。
多量排出事業所訪問	6月中	多量排出事業所に指定された事業所を訪問し、提出された一般廃棄物減量計画に基づいて、当該事業所の一般廃棄物の減量状況を調査した。
市広報紙掲載	6月1日	広報紙「広報やつしろ」に環境月間行事等を掲載し、広く市民に周知することで、環境保全意識の向上を促した。
浄化槽の立入検査	6月1日	八代市、八代保健所及び県浄化槽協会とで実施。使用者に適正な使用方法と維持管理の必要性を促した。
市職員清掃奉仕活動	6月3日	市職員が、田中町北部中央公園の清掃作業を行った。
市内一斉清掃	6月5日	環境美化推進委員、市政協力員の呼びかけにより町内の清掃を行い、生活環境の美化に努めた。
球磨川流域一斉清掃	6月12日	球磨川をきれいにする協議会の後援で同協議会が定めた「球磨川の日（6月1日）」を記念し、球磨川流域の一斉清掃を行った。
機密文書類 資源化搬入実験	6月21日 ～22日	庁舎内の機密文書の全量資源化実証のとりかかりとして、廃棄物対策課内の機密文書の日本製紙への持ち込みを行った。
環境フェスティバル	7月3日	市民団体が主催する環境保全啓発イベントに参加した。環境パネル展示、チラシ及び啓発用品配布などを行い、環境保全について市民に啓発を行った。



## (2) 平成 17 年度「環境衛生週間」

生活環境の保全及び公衆衛生を向上させるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行日である 9 月 24 日（清掃の日）から「浄化槽法」の施行日である 10 月 1 日（浄化槽の日）までの期間「環境衛生週間」にあわせ、八代市では次の活動を実施した。

### 平成 17 年度「環境衛生週間」行事

行事名	期日	内容
市内一斉清掃	9 月 25 日	環境衛生週間中に市政協力員の呼びかけにより、各町内の実情に応じて一斉清掃を行った。
犬のフン処理啓発	9 月 26 日 ～30 日	苦情の多い地域を重点的に広報車による啓発活動を実施した。
廃棄物不法投棄パトロール・ごみ減量啓発活動	9 月 28 日	廃棄物の不法投棄パトロールとごみ減量啓発活動を行い、廃棄物の不法投棄防止、適正処理とごみ減量を促した。
浄化槽立入検査	9 月 29 日	各家庭の浄化槽を調査し、使用者に適正な維持管理を促した。
環境美化推進善行者表彰	10 月 6 日	日頃から住みよいきれいな地域社会及び美しい街づくりに尽力している個人、団体を表彰し、その功績を称えた。
環境美化推進研修会	10 月 6 日	きれいなまちづくり協定締結者代表の上村國美氏を講師を招き、環境美化についての講演を実施し、啓発を行った。
廃食用油せっけんづくり講習会	10 月 18 日	生活排水対策を主な目的として、廃食用油からせっけんをつくり、そのリサイクルと公共用水域の保全を促した。

## 4. 松葉ダイオキシン類調査

### (1) 目的

クロマツの針葉（以下、「松葉」）は、脂肪分が多く、呼吸を通じてダイオキシン類を蓄積しやすい性質を持っていることから、松葉を環境指標としたダイオキシン類調査がグリーンコープを中心に全国的に展開されている。

市民団体（未来の子どもたちのためにダイオキシンを考える会）及び教育機関と連携して本調査を実施することにより、以下の効果等が考えられることから、平成14年度から調査を開始した。（平成14年度はクロマツの植樹を行い、分析検体の採取及び分析は、平成15年度から実施）

- ①大気中の長期的なダイオキシン類の平均濃度を把握することができる。
- ②市民参加型で取り組むことにより、分析結果等の情報を市民と共有できる。
- ③教育機関との連携により、環境学習としての効果が期待できる。

### (2) 内容

#### ①調査地点

市内の10小・中学校を下記の4つのグループに分けて、それぞれの地域の平均濃度を把握した。

なお、ダイオキシン類についての事前学習を希望した8小学校では、市民団体又は市環境課職員が講師となり、ダイオキシン類及びごみ問題に関する学習会を開催した。

第1グループ（球磨川北部地域）	松高小学校、宮地小学校、昭和小学校
第2グループ（球磨川南部地域）	高田小学校、金剛小学校、日奈久小学校
第3グループ（発生源周辺）	第三中学校、太田郷小学校
第4グループ（対照地域）	宮地東小学校、二見小学校

（備考：これまでの取組）

平成14年度：10小・中学校にクロマツを植樹。学習会を10校中8校で実施。

平成15年度：松葉の採取及び分析。学習会を10校中8校で実施。

平成16年度：松葉の採取及び分析。学習会を10校中5校で実施。

平成17年度：松葉の採取及び分析。学習会を10校中8校で実施。

#### ②測定方法

生活共同組合グリーンコープ連合等が実施している調査との比較を可能とするため、摂南大学薬学部宮田研究室の手法に準じた方法とした。

### (3) 結果

#### ①平成17年度結果

平成17年度の調査結果は下表のとおりで、今回得られた松葉中の実測値から大気中のダイオキシン類濃度を推定し、参考までに大気環境基準（年間平均値0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>）

に照らしてみると、昨年度に引続き、全てのグループで基準値を下回っていた。

②総括

- ・平成 15 から 17 年度までの調査結果を参考までにダイオキシン類大気環境基準 (0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>) に照らしてみると、4 グループとも基準を下回っていた。
- ・一般に、大気中のダイオキシン類の発生由来は工場や野焼き等の燃焼に伴う寄与が大きいとされており、本調査結果から、本市の大気中のダイオキシン類は、工場からよりむしろ野焼き等による影響が大きいのではないかと推測された。

○平成 17 年度松葉ダイオキシン類調査結果

(単位) 松葉 : pg-TEQ/g 大気 : pg-TEQ/m<sup>3</sup>

	平成 17 年度		(参考)平成 16 年度		(参考)平成 15 年度	
	松葉中 [実測値]	大気中 [推定値]	松葉中 [実測値]	大気中 [推定値]	松葉中 [実測値]	大気中 [推定値]
第 1 グループ	0.60	0.060	0.90	0.090	0.76	0.076
第 2 グループ	0.55	0.055	0.87	0.087	0.31	0.031
第 3 グループ	0.30	0.030	0.73	0.073	0.57	0.057
第 4 グループ	0.37	0.037	0.33	0.033	0.27	0.027

※(株)環境総合研究所データによると、松葉中のダイオキシン類濃度の概ね 10 分の 1 が大気中のダイオキシン類濃度に相当すると言われている。

○各グループのダイオキシン類濃度 (松葉中の濃度) の推移

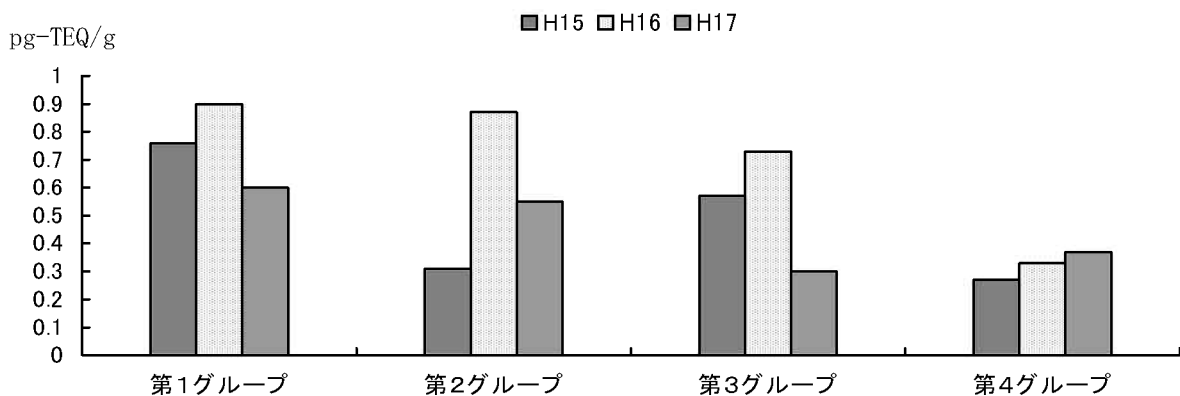
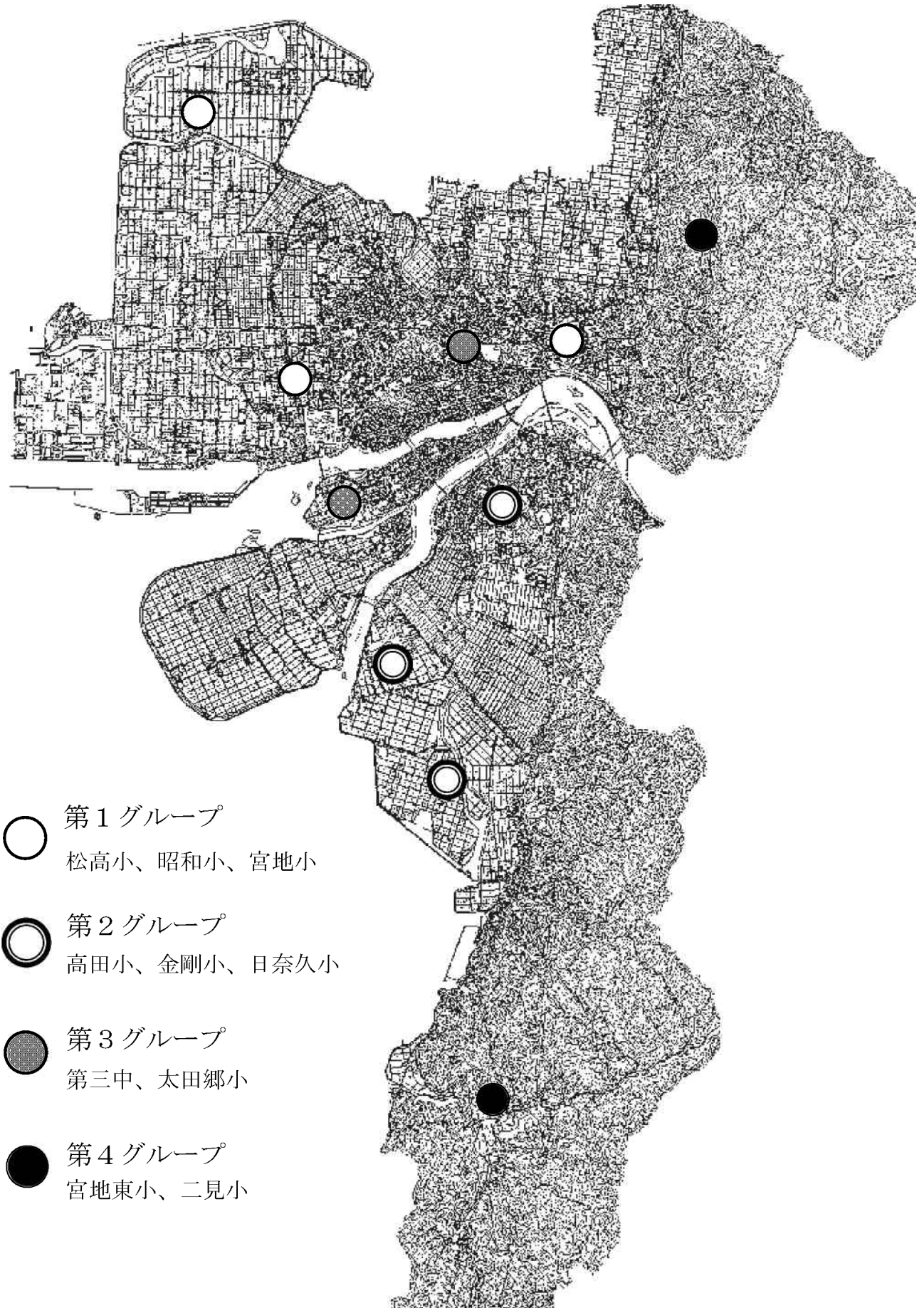


図-1 松葉ダイオキシン類調査地点



## 5. 広報活動

本市では、環境に関する身近な情報をいち早く市民に届けるため、広報紙やメディアを活用した広報活動を積極的に展開している。

### (1) 広報紙「広報やつしろ」

発行月日	掲載内容
4月1日号	犬の登録と狂犬病予防集合注射
4月15日号	春の野鳥観察会参加者募集について 市営上片墓園使用者募集 犬の登録と狂犬病予防集合注射
5月15日号	ホタル観察会参加者募集について
6月1日号	6月は環境月間
7月15日号	夏休みこども環境特別企画第1弾の参加者募集について
7月31日号	STOP!地球温暖化 環境フェスティバル 夏休みこども環境特別企画第2弾の参加者募集について
10月1日号	10月は3R推進月間です
12月1日号	Stop!地球温暖化(特集)
1月1日号	冬の野鳥観察会
2月15日号	廃棄物処理にご協力を!
3月15日号	生ごみ処理機助成金 資源回収活動助成金制度廃止 犬の登録と狂犬病予防集合注射

(2) ラジオ「FM やつしろ」による放送

放送日	放送内容
平成17年4月18日	こどもエコクラブ会員募集と春の野鳥観察会参加者募集について
5月2日	事業所ごみの減量化について
5月23日	ほたる観察会参加者募集について
5月30日	5月30日は「ごみゼロ」の日
6月6日	環境月間について
6月13日	きれいなまちづくり協定について
7月11日	こども緑の探検隊・スターウォッチング
8月1日	干潟観察会・エコキッチン
8月8日	生ごみの減量化対策について
8月15日	シギ・チドリネットワーク参加1周年
8月22日	環境衛生週間について
9月12日	秋の野鳥観察会について
10月3日	10月は3R月間です
11月21日	地球温暖化防止月間について
12月12日	年末年始のごみ収集について
平成18年2月20日	廃棄物の不法投棄・野焼き防止について
3月13日	狂犬病予防注射について
3月20日	資源回収活動助成事業について
3月27日	八代市の水環境について

(3) その他

① 環境フェスティバル（本町アーケード街、平成17年7月3日）

例年、八代の環境を考える会が環境月間行事の一環として開催している「環境フェスティバル」に参加した。約20の市民団体が参加しており、市も市民団体の自主的な環境保全啓発活動に平成7年度から参加している。

平成17年度は地球温暖化等の地球環境問題やごみ問題に関するパネル展示、環境問題に関するクイズ、リサイクルキッチンペーパー等の啓発用品の配布等を行った。

② やつしろ広域環境フェスタ（球磨川河川敷スポーツ公園、平成17年11月18日～19日）

八代市郡で構成される八代広域市町村圏が共催した「九州スリーデーマーチ」の1イベントとして開催。地球温暖化をはじめとした環境問題について、圏域住民が一体となって取り組み、自然豊かなすばらしい「やつしろ」を次世代に引き継ぐ啓発の場となることを目的とし、環境パネル展示、環境クイズ、リグラスアートなどを行った。